

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県立高等学校文化部活動振興費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県環境生活部県民文化局 文化伝承課 教育文化係 電話番号：058-272-1111(内3143)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,982 千円 (前年度予算額：3,982 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,982	0	0	0	0	0	0	0	3,982
要求額	3,982	0	0	0	0	0	0	0	3,982
決定額	3,982	0	0	0	0	0	0	0	3,982

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・原則として東海・中部・全国大会に出場した、県立高等学校の部活動(推進指定校)に係る経費の一部(遠征費、運搬費等)を補助。
- ・全国大会等に出場する経費や日常の文化部活動に係る経費の軽減により、全国大会出場への意識の高揚、日ごろの取り組みの意欲向上、部門における技量の上達を図る。
- ・現在着実に成果を上げている文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励により、特色ある文化部活動への一層の支援の拡充を計画。
- ・清流文化の担い手育成の場である文化部活動を支援。

(2) 事業内容

推進指定校に補助金(3,982千円)を交付。
補助金額は、各部の実績等、各種基準により算出。

(3) 県負担・補助率の考え方

顕著な活動が見られる文化系部活動を推進指定校とし、経費の一部を補助することにより、充実した活動環境の整備を支援。

県立高等学校で日々懸命に部活動に取り組む生徒を支援する事業であり、県の負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金	3,982	各種基準に基づき配分された額を、各推進指定校に分配。
その他		
合計	3,982	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョンの基本方針の1つ「ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」において取り組むべき目標に「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が掲げられており、文化部活動の活性化を図ることが必要。

(2) 後年度の財政負担

令和6年度に本県で開催される第48回全国高等学校総合文化祭に向け、文化部活動活性化は喫緊の課題である。令和7年度以降は、令和6年までの成果を受け継ぎ、底上げされた活動を途切れさせることなく、さらなる発展を促す必要があるため、継続すべき事業である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県立高等学校文化部活動振興費補助金
補助事業者(団体)	各高等学校部活動後援会等 (理由) 県内高校の文化部活動の振興が本県の文化の向上に不可欠との観点から、全国大会出場等の高い実績を有する部に対して、経費の一部を負担。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県立高等学校文化部活動の一層の強化・推進を図る (内容) 県立高等学校の文化系部活動の実施に伴う経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付。
補助率・補助単価等	その他(例:人件費相当額) (内容) 原則的に、東海・中部・全国大会に出場した部活動を推進指定校として認定し、活動経費の一部を補助。 (理由) 過去3年間の実績に応じて例年約30校50部に効果的な配分を行い、旅費や運搬費等の経費の一部を補助。
補助効果	・全国大会出場への意識の高揚、日ごろの取り組みの意欲向上、部門における技量の上達を期待。 ・文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励により、特色ある文化部活動への一層の支援の拡充を計画。
終期の設定	終期R6年度 (理由) 全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催される、一つの大きな節目であるため。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
全国レベルの大会で上位入賞できる部の増加。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H3)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R6)	
					達成率	
①全国大会・世界大会で上位入賞した部数	/	5	6	7	8	75%

補助金交付実績 (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	4,300	4,214	4,300	4,300

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	日々の活動や大会出場にかかる経費の軽減。文化部活動各部の適切な評価によって、全国大会上位入賞を継続して排出。推進指定校制度による意欲向上と切磋琢磨する雰囲気醸成。
	指標① 目標：8部 実績：3部 達成率：38%
令和3年度	推進指定校が他校を誘引し、県内文化部活動が活性化。その結果、全国上位入賞する校数の増加。令和6年度の全国高等学校総合文化祭に向けて、意欲向上に寄与。
	指標① 目標：8部 実績：5部 達成率：63%
令和4年度	推進指定校が他校を誘引し、県内文化部活動が活性化。令和6年度の全国高等学校総合文化祭に向けた機運の上昇と相まって、新たに全国上位入賞する学校が増加。県内の文化部活動全体の底上げに寄与。
	指標① 目標：8部 実績：6部 達成率：75%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	推進指定校として必要経費を補助することが各学校の文化部活動の動機づけの一つとなり、全体の活性化につながっているのは明白で、将来の県民文化の一層の発展のためにも本補助金は必要。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 3	推進指定した部のいくつかがほぼ毎年全国レベルの大会で上位入賞し、他校を誘引している点で、本補助金は有効。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	毎年度末の事業の報告書などの確認により、各学校へ補助金の活用方法を助言しており、効率的な補助金の活用を継続して推進。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類作成の負担軽減に向けた要綱の改定とマニュアルの整備。 ・県高文連各専門部会や各校部活動の活動状況の正確な把握と適切な評価。 ・補助金の適正な分配方法や配分額のさらなる研究。
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>令和6年度に本件で開催される第48回全国高等学校総合文化祭に向けて文化部活動活性化は喫緊の課題であり継続すべき事業。令和7年度以降は、今回の自県開催で得た成果を継続し、生徒たちの文化部活動への意欲向上やさらなる技量向上等を図っていくため、高校文化部活動の振興と活性化をより一層促す必要がある。次世代を担う高校生</p>
--

の芸術文化活動を支援していくため、より効果的な支援に向け、適切な評価と補助金の配分を目指す。